

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドスマイル		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		令和8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		令和8年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容に応じた専門的スタッフの配置	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に応じて専門性のあるスタッフを配置し専門的な助言を取り入れながら支援を実施している ・運動機能や集中力の向上だけでなく集団活動を通じた社会的経験の積み重ねにつながっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も専門的知見を活かした支援を継続し職員間での共有や振り返りを行いながら活動内容および支援の質の維持・向上に努めていく
2	児童・保護者のニーズを踏まえた個別支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や課題について複数の視点から分析しAI分析も参考にしながら支援内容の検討を行っている ・複数職員で話し合いを行った上で個別支援計画を作成し保護者へ内容を共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を基本とした支援を継続しつつ職員間および保護者との情報共有を丁寧に行い児童一人ひとりの状態に応じた関わり方や参加方法を見直ししながら、より安心して参加できる支援体制の充実を図っていく
3	個別対応と集団活動のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を基本としながら個々の状態に応じて無理のない参加方法を選択できる ・「参加しない=不参加」とならない柔軟な支援ができていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を基本としつつ、児童の状態に応じて参加方法を調整し、職員間で共通理解を図りながら無理のない形で集団に関わる環境づくりと参加へのハードルを下げる支援を継続する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの得意分野が十分に共有されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ごとの得意分野や専門性について共有する機会が限られており、個々の強みを十分に把握できていないため支援内容や役割分担に活かしきれていない状況がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの得意分野や経験を共有する場を設け日々の支援やケース検討の中で専門性を意識した役割分担を行うことで、チーム全体で支援の質の向上につなげていく
2	事業所の支援の特色が分かりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の中で行っている工夫や意図について十分に整理・発信できておらず、事業所としての支援の特色が地域に伝わりにくい状況がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や関わり方を振り返りながら整理し職員間で共通理解を図るとともに、地域に向けた情報発信の機会や方法を工夫し、事業所の支援の特色が伝わる取組を進めていく
3			